

東三総体に向けての確認事項

1 競技上の規定の注意点

- 使用するベンチは、本部側の若番、反対側の暁番の学校が使用してください。
- 団体戦では、声をそろえての応援を認めますが、個人戦では禁止とします。
また、エール交換は行わず、試合進行に協力してください。
- 団体戦は、各校の第1試合の対戦は、第3対戦まで行います。
2試合目以降のトーナメントは、勝負が決まりしだい打ち切ります。
- 団体戦の副審は、生徒による相互審で行います。試合前の挨拶時に順番を決めてください。
- ジャッジペーパーは、勝者サインを書かせて生徒に本部まで持ってこさせてください。
- 試合前の話し合いは、1試合目は1分とします。熱中症指数によって、2試合目からは1本を短縮する場合があります。
- ファイナルゲームの前にヒートルールを適用する可能性があります。
ファイナルゲームに突入した際、3分間の休憩を許可するというものです。コート外の日陰に下げてもよいです。
3分間は、審判台についでいるストップウォッチで正審が計測してください。
放送によって告知し、途中から導入する可能性があります。
- 試合中、体調が悪い時は、タイムを取ることができます。
体調が悪いのに、戦術的な理由（流れが悪い）などでタイムは取れません。
タイムを取れることを知らない生徒が、無理をしてプレーすることがないようにしてください。
- 塩分タブレットや氷スプレー、日傘など、可能な限りの熱中症対策をしてください。
ただし、塩分タブレットなどは、食物アレルギーのリスクもあるので注意してください。
- 給水は、チェンジサービス時・ファイナルゲームのチェンジサイズ時にも認めます。顧問・コーチは給水を足してください。
チェンジサイズ時に水筒を審判台に運んでいくのを忘れないようにしてください。
- 正審は、どんどんレッツプレイをかけて速やかに試合進行をしてください。
- 「ゲームチェンジサイズ」から、45秒でレッツプレイをかけてください。
レッツプレイがかわったら、観客や外部コーチはアドバイスをやめ、速やかに選手を移動させてください。
- フェンスの外側から、戦術的なアドバイスをすることはできません。また、コート横からの声援も禁止します。
- 団体戦・個人戦ともに進行表の通りに進行します。ただし、試合時間に届かなかった場合、本部よりコート変更を指示します。
- 団体戦は、1回戦から2面展開とし、選手が日なたでの過ごす時間を短くするとともに、コートが空いている状態を作らないようにします。団体戦のみベンチは2面の中央に寄せることができます。
個人戦では、同じ学校が隣り合わせて試合をしている場合のみ、アドバイスを聞きに行くことができます。
ただし、ベンチを寄せることはできません。
- 天候や試合進行により、途中中断することもあります。
WBGTの数値が高くなった場合、大会を中断し、翌日に続きを行います。

2 連絡事項

- 団体では、準決勝で敗れた学校は、県大会出場決定戦を行います。帰らないように注意してください。
個人では、ベスト16で敗れたペアは、県大会出場決定戦を行います。その場合の敗者審判については教員で行います。
- 県大会出場を決めた学校は、最後に打ち合わせ会があるので、残ってください。
- できれば、東三大会中に県大会の支払いをしていってください。
支払いができない場合は、豊橋の本郷中まで持ってくることにあります。
- 県大会の審判員の先生方
県大会は、選手に合わせてゲームシャツで依頼来ています。
- コート主任の先生方
途中で中断した場合、明日の試合の審判割を決めてから解散してください。

3 日程について

- 8:00 観戦打ち合わせ→審判打ち合わせ→オーダー用紙提出（団体のみ）
- 8:10 開会式（放送）
- 8:15 試合開始